

事業番号	15 06 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
			実施期間	H30 ~	E-mail	kyogaku @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・多様な特性等により学びづらさを抱える児童生徒が増えており、多様な学びや学びの場の保障が必要
- ・探究的な学びの一層の充実が求められる中、探究学習の様相は多様であるため、具体的な実践方法に戸惑いがみられる。
- ・変化の激しい時代において、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適な学び、協働的な学びにより、教職生涯を通じて学び続けるといった、新たな教師の学びを実現していく必要性がある。

2 事業目的

- ・一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
- ・探究を中核とした学びを充実し、一人ひとりが自ら考え、他者と協働する学校づくりを支援する
- ・教職生涯を通じて学び続ける新たな教師の学びを実現する

3 事業目的を達成するための取組

- ① 学びの改革、個別最適な学びの推進**
- ・探究を中核とした学びの充実、個別最適な学びの推進、多様な学びの場の創造を図るため、実践研究に取り組む学校に対するアドバイザー派遣や先進的な取組を行う県内外の学校への視察研修等を実施するとともに、成果を発信していくためのフォーラムを開催
 - ・1人1台端末の発展的な活用を拡げるため、先進校（DXリーディング校）の授業公開等を実施
 - ・【新】児童生徒にアセスメントを実施することで、特定分野に特異な才能のある児童生徒を見だし、こういった児童生徒に指導・支援をえられる授業デザインの構築をするとともに、特定分野に特異な才能のある児童生徒を指導・支援するチューターを派遣
 - ・【新】児童生徒が自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校「ウェルビーイング実践校TOCO-TON（トコトン）」について、有識者派遣等により支援
- ② 教職員の資質向上**
- ・初任者から管理職まで必要な資質能力を育成するため、キャリアステージに応じた教職員研修を実施
 - ・未来の学校を創る校長等のマネジメント力を向上するための研修を実施
 - ・長野県の次代の教育を担う教員が資質・能力を高めるため、先進的な取組を行う学校への視察研修の支援や私学・民間等と連携した研修プログラムの開発を実施
- ③ 子ども達の心身の健やかな成長**
- ・校園種を越えて学び合い質の高い幼児教育の実現を推進するため、信州幼児教育支援センターによるフィールド研修を実施
 - ・保育者に必要な資質能力を育成するため、キャリアステージに応じた研修を計画実施
 - ・園・小接続カリキュラム（理論編・実践編）に基づいた研修の実施
 - ・道徳教育の一層の充実を図るため、有識者等による道徳教育推進委員会を設置し、豊かな心を育むフォーラム等の実施
 - ・地域文化クラブ活動体制を整備し、学校外で文化芸術に触れる機会を確保

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移				
①	学びの改革を普及するためのフォーラム参加者数	人	-	1,379	↗	1,400	↗	1,450		先進的な学びの改革に取り組む小中学校の成果を横展開するため、フォーラム参加者数を増加させることを目標値として設定	
②	研修参加者の研修講座のふりかえり「講座のねらいを達成」	%	54	53	↘	55	↗	60		研修に参加した教職員の自己評価（「講座のねらいを達成した」とする者）が一定水準を上回るよう6割を目標として設定	
③	信州幼児教育支援センターによる各研修への参加者数	人	2,446	2,027	↘	2,000	↘	2,000		令和4年度に拡充した研修を継続し、引き続き同規模の参加者を目標として設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	幼保小合同研修会の実施率	%	2021 (R3)	46.6	2022 (R4)	46.6	2023 (R5)	45.3	2027 (R9)	56.6
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	「学校へ行くのが楽しい」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2021 (R3)	83.7	2022 (R4)	82.0	2023 (R5)	82.4	2027 (R9)	83.7
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2021 (R3)	76.5	2022 (R4)	78.1	2023 (R5)	77.4	2027 (R9)	76.5
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	☆「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2021 (R3)	81.1	2022 (R4)	81.1	2023 (R5)	84.2	2027 (R9)	81.1

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分		予算額				決算額	職員数	
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			うち一般財源
R7年度	予算案		2月上旬公表予定		0		8.0	
	要求		174,025		174,025	103,925		
R6年度		0	135,197	0	135,197	96,570	8.0	
R5年度		0	118,924	1,596	120,520	93,295	77,549	8.0

事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	------------------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	先端的な学び支援事業		2,140 千円	3,349 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 21,051 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	学びの充実あと押し事業	直接	・学校の抱える教育課題に対して、学校全体で解決に向けて取り組もうとしている学校やミドルリーダーや管理職として活躍できる人材を育成したい学校を支援する。 ・支援した学校の研究成果等を発信するフォーラムを開催する。 ミニフォーラム3回、フォーラムながの1回、小中学校18校において実証研究		
2	GIGAスクール構想をけん引するDXリーディング校事業	直接	1人1台端末の効果的な実践例を横展開していくため、他校とのオンラインによる協働学習など、授業連携を積極的に行う学校をリーディング校に指定するとともに、公開授業やSNSの活用により成果を発信する。 県内小中学校から3校		
3	特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援推進事業	直接	<u>【新】児童生徒にアセスメントを実施することで、特定分野に特異な才能のある児童生徒を見出し、こういった児童生徒に指導・支援を入れられる授業デザインの構築をするとともに、特定分野に特異な才能のある児童生徒を指導・支援するチューターを派遣</u> 県内小中学校から2校程度		
4	ウェルビーイング実践校TOCO-TON事業	直接	<u>【新】児童生徒が自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校「ウェルビーイング実践校TOCO-TON（トコトン）」を有識者派遣等により支援</u> 県内小中学校から10校		

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
2	教職員研修事業費		70,385 千円	73,099 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 72,201 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教職員研修事業費	直接	・教職員の資質能力を向上させるため、初任者研修等の法定研修やキャリアに応じた各種研修を実施する。 ・システムを活用して各研修の受講履歴を記録する。 初任者、5年目、10年目、20年目以上の者への資質向上研修を実施		
2	未来の学校を創る校長等マネジメント力向上事業	直接	各学校が独自のカリキュラムを実践するためのマネジメント力を向上し、主体的に特色ある運営を行えるようにするため、校長等のマネジメント力向上研修を実施する。 校長16名、小中中核教員27名		

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
3	総合教育センター研修費		16,852 千円	16,291 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 15,859 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	総合教育センター研修費	直接	『個人と社会のウェルビーイングの実現』に向けて、教員の資質能力向上を図る研修、専門的な知識・技能を習得する研修及び、教育課題を解決する力を育成する研修を行う。 希望研修、校長・教頭向け研修を実施		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
4	総合教育センター研究費	943 千円	903 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 865 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合教育センター研究費	直接	本県教育の今日的課題やセンターの事業に関する喫緊の課題に対応するため、研究協力者及び研究協力校とともに、時代を先取りした研究調査を推進する。 調査研究事業 5件	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
5	幼児教育振興事業費	7,021 千円	7,371 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 7,418 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州幼児教育支援センターの運営	直接	幼稚園及び保育所等の園種を越えて幼児教育の質の向上を図るため、関係団体との連携、保育者研修の見直し等を実施する。 運営会議 2回、専門部会 6回	
2	保育者の資質能力の向上	直接 委託	質の高い幼児教育を実施するため、キャリアステージに応じた研修を実施。また、先進的な取組を行っている幼稚園、保育所及び認定こども園等でフィールド研修を委託する。（委託先：県内の幼児教育施設等） キャリアステージ研修 5回、フィールド研修委託 4件	
3	保育者の資質能力の向上	直接	園・小接続カリキュラム（理論編・実践編）に基づいた研修を実施する。 研修 2回	
4	保護者・地域等の理解の促進（情報発信）	直接	保護者及び地域等へ理解を促進するため、情報誌による情報発信をする。 情報誌への掲載 3回	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
6	道徳教育総合支援事業費	3,335 千円	4,198 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 4,154 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	道徳教育総合支援事業	直接	道徳教育の質的転換を一層図るため、学習指導要領を踏まえた多様な指導方法の開発や指導力向上のための教員研修等を推進する。 教育フォーラム 1回、研究協議会 2回開催	